



一般社団法人
がん医療の今を共有する会

厚労科研大西班 SDMを実現するための 現状の課題と施策の考察

2026年3月18日

一般社団法人 がん医療の今を共有する会

0



一般社団法人
がん医療の今を共有する会

厚労科研におけるアンケート調査

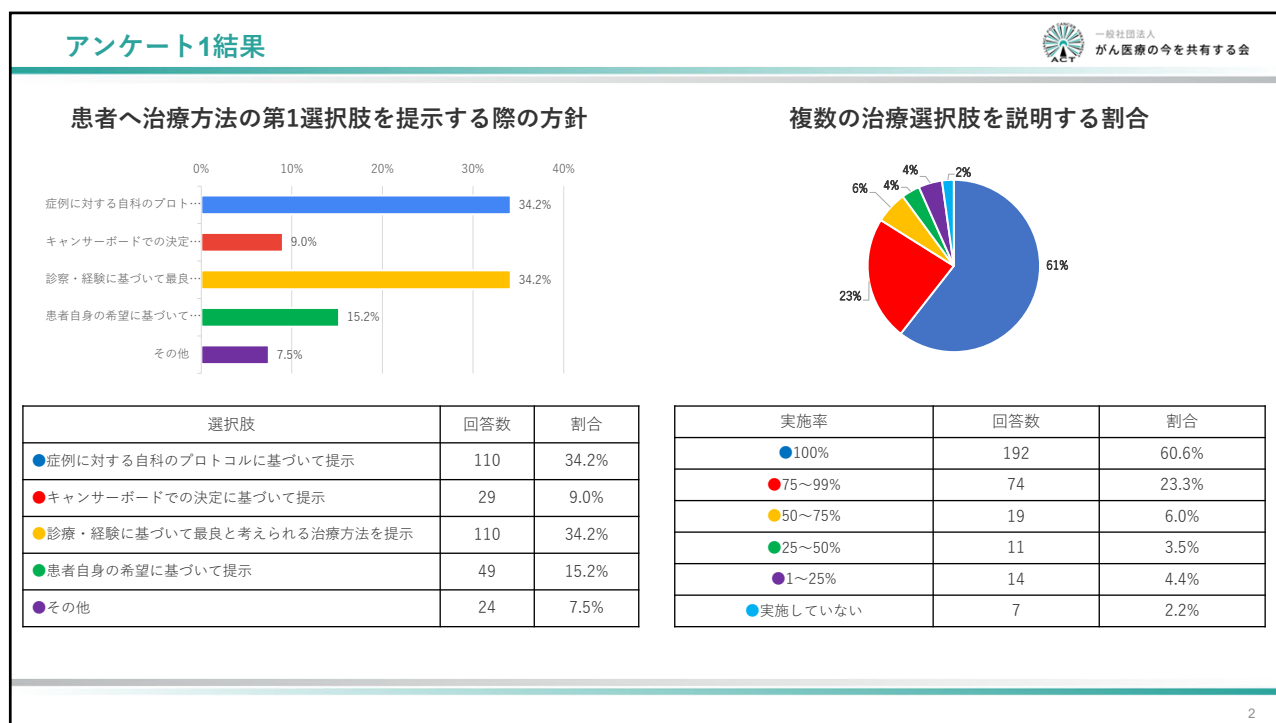
- 厚労科研大西班「放射線療法の提供体制構築に資する研究」分担研究
 ～令和4年度 分担研究「SDMを実現するための現状の課題と施策の考察」
 ～令和7年度 分担研究「SDMを補助する為の患者向け情報提供機会創出を目指したフロー考察」
- 令和4年度 アンケート「集学的がん医療の取り組みについて」
 実施) 2022年4月～5月
 協力) 日本放射線腫瘍学会・日本泌尿器科学会
 回答) 放射線腫瘍医：219施設・泌尿器科医：105施設
- 令和7年度 アンケート「治療方針決定プロセスについて」
 実施) 2024年11月～12月
 協力) NPO法人腺友倶楽部 会員
 回答) 前立腺がん治療経験者 120名

前立腺がん

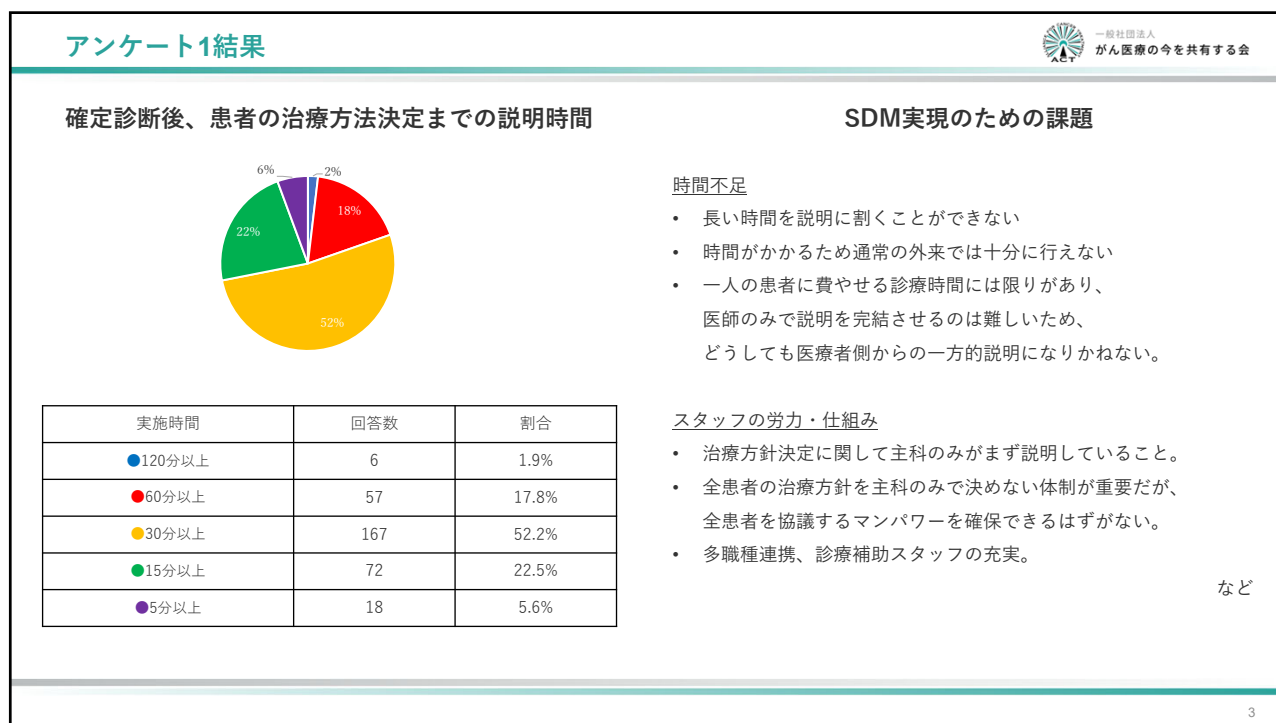
医師

患者

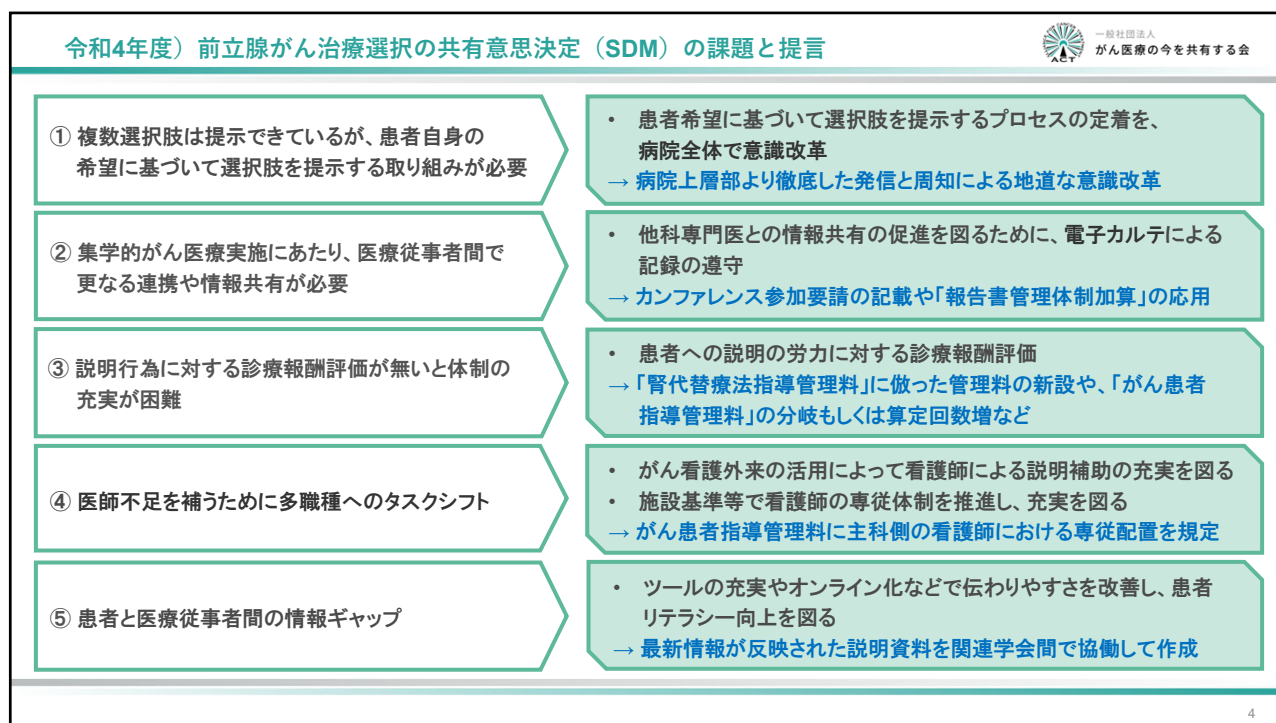
1



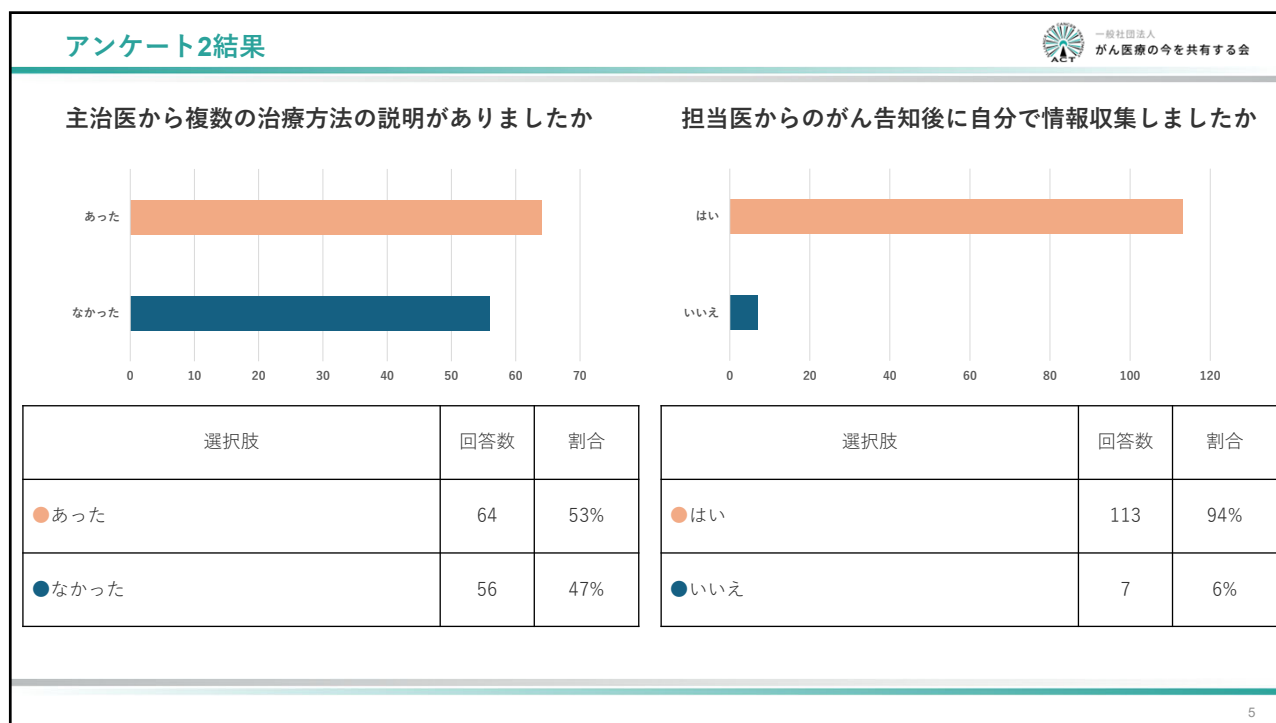
2



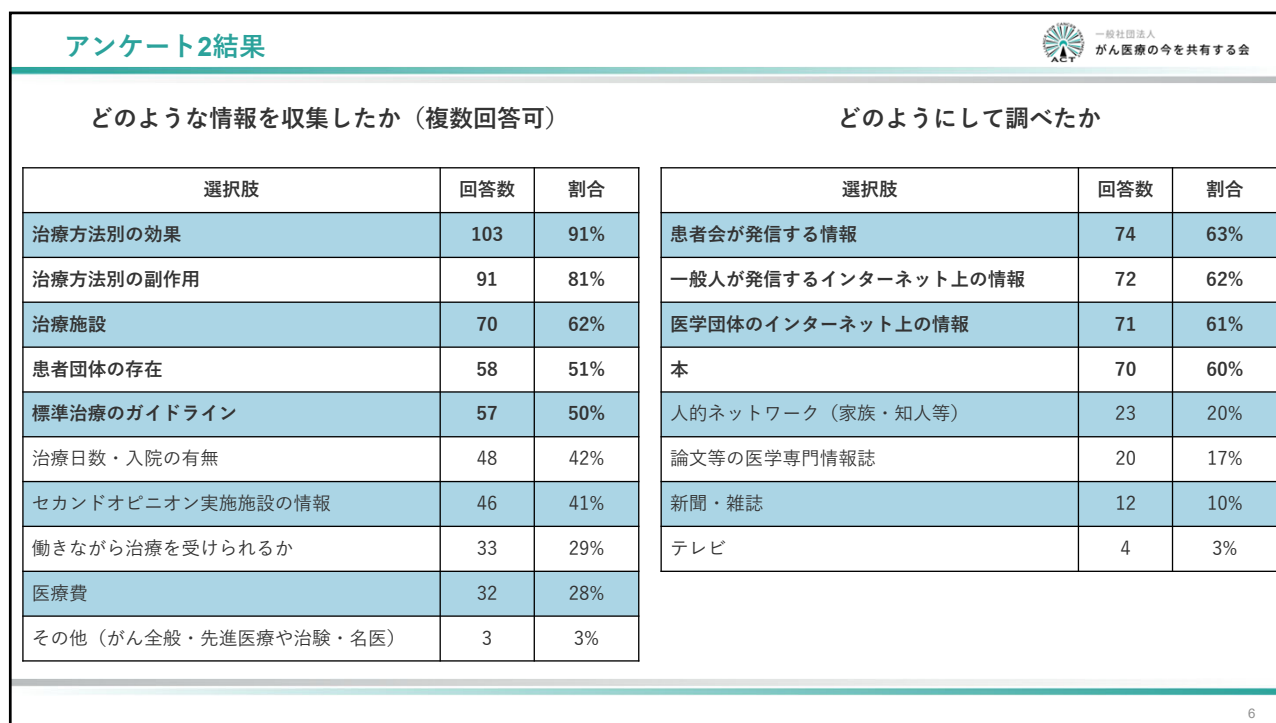
3



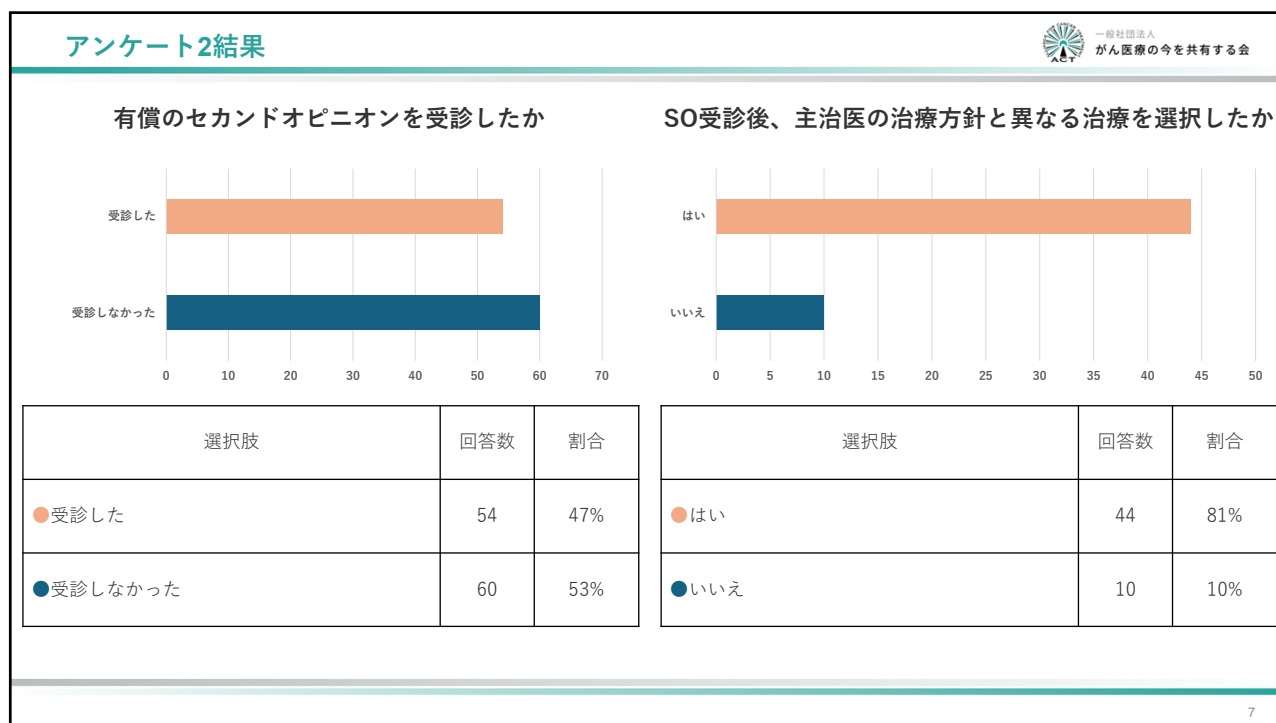
4



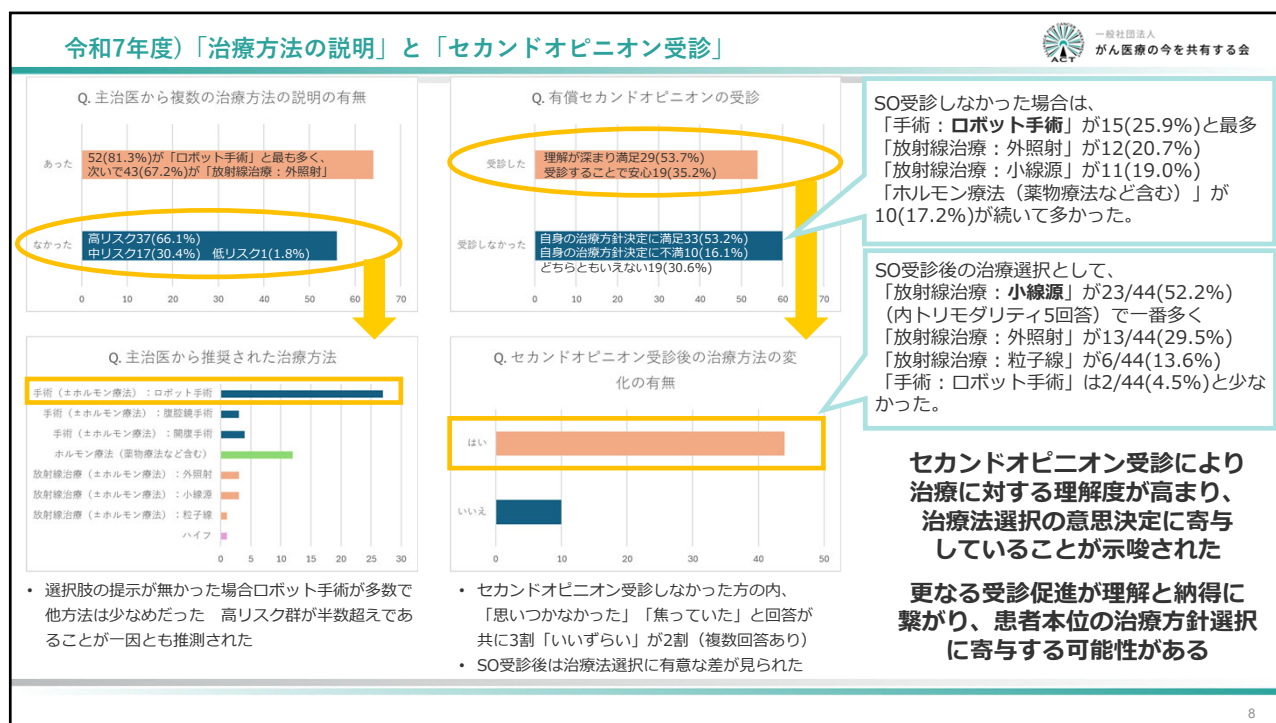
5



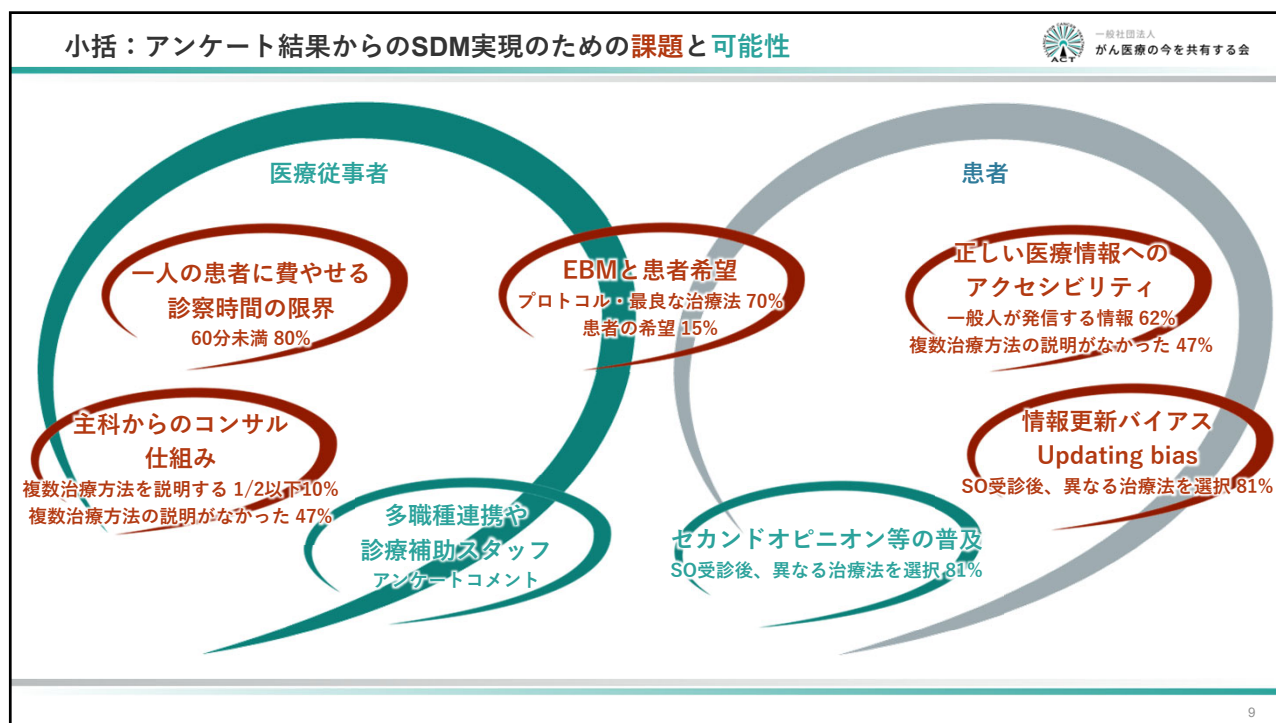
6



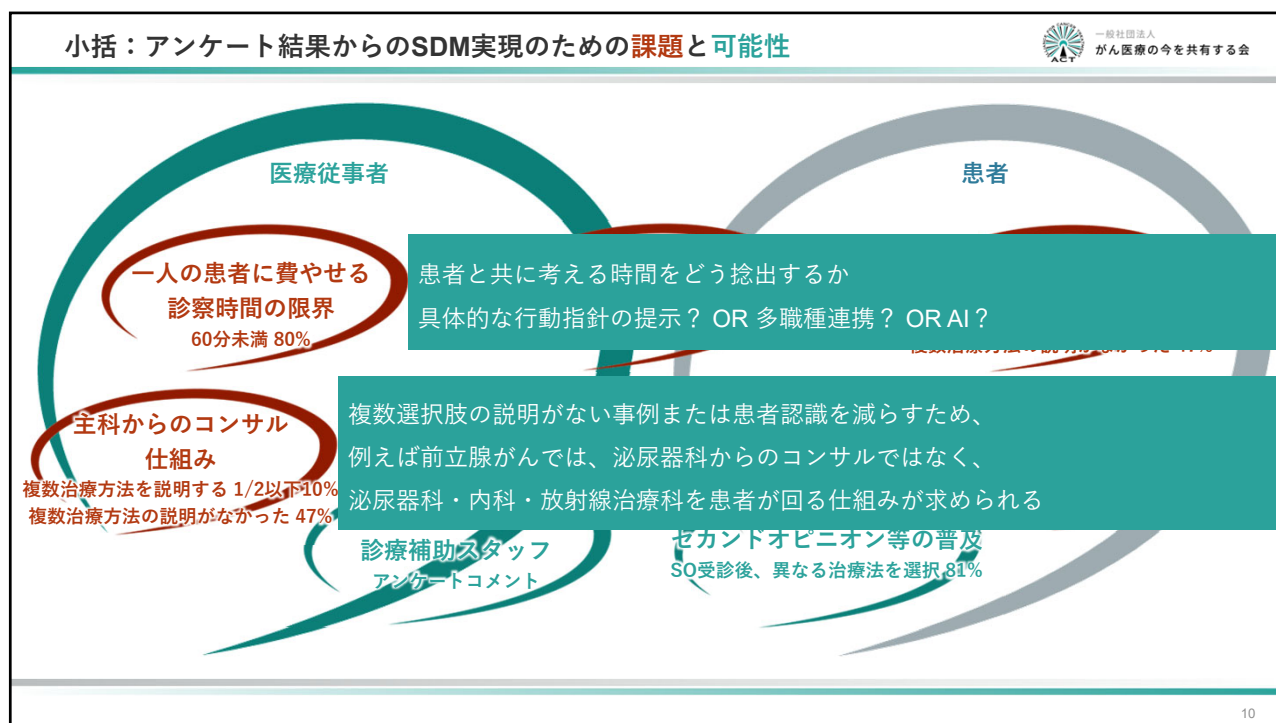
7



8



9



10

がん診療連携拠点病院整備指針についての提案

一般社団法人
がん医療の今を共有する会

2. 診療体制

(1) 診療機能

追加文案

イ 医師からの診断結果や病状の説明時および治療方針の決定時には以下の体制を整備すること

- 治療プロセス全体に関して、**患者が十分に理解し納得した上で意思決定できるように説明し、専門看護師等の関係医療職種も含めたチーム医療体制で、患者とともに考えながら方針を決定すること。また、推進にあたり主に主科が率先して体制構築を目指し、病院全体として意識的に取り組むこと。**
- 標準治療として複数の診療科が関与する選択肢がある場合に、**患者に必ず全ての選択肢を説明し、その知見のある診療科の受診ができる体制を確保すること。その場合は主科のみならず複数の診療科を受診しやすいように病院側が自律的に手続きを補助すること。例えば前立腺がんの場合、泌尿器科で前立腺がんの確定診断がついた場合に患者が治療方針を決定するにあたり、泌尿器科、放射線治療科、腫瘍内科の3つの診察予約が取られるような仕組みが望ましい。**

提言) がん治療版「腎代替療法指導管理料（500点）」の創設

- 腎代替療法について指導を行い、当該患者が十分に理解し、納得した上で治療方針を選択できるように説明及び相談を行った場合に、患者1人につき2回に限り算定する。

11

11

今後の予定

一般社団法人
がん医療の今を共有する会

•発表

- 日本放射線腫瘍学会第35回学術大会「SDM実施が可能となるがん医療提供体制に関する考察と提言」講演
- 日本放射線技師会「治療を“選ぶ”医療へ ～Shared Decision Making (SDM) に関わるには～」講演

•論文・提言

- ～R4年度詳細報告書と提言書を作成し提出
- ～R7年度詳細報告書と提言書を作成中